

今月のスポットライト



ワクワークフェスティバル
実行委員会 代表
近藤 麻美さん

ワクフェスへの思い



今現在の家族の形は、「子どもをどこかへ連れて行きたいが思いつかない」、「いろんな経験をさせたいと思うが、仕事などで疲れてなかなか休みに遠出ができない」、「他市から引越してきたが子どもをどこであそばせていいのかわからない」、「いつもゲームやテレビをみさせてしまう」など、さまざまな悩みを抱えながら昔よりも閉鎖的な環境で子育てをさせているケースが増えていると思います。そんな時代に生きている子どもたちに、もっといろいろな経験させたい。子どもなら当たり前なこと、「見る・聞く・考える・創る・笑う」を最大限にできる環境をつくりたい。そんな思いでワクフェスを企画しました。子育てでストレスを抱えている方にも楽しめる

企画広報課 ☎66♦1145

ースを設け、人の横のつながりができるきっかけになればと考えています。この催しは、ワークショップや子どもたちのステージを設け、子ども達に遊びながら学んでもらうことを目的に開催します。赤ちゃんからキッズまで楽しいブースがいっぱい。是非遊びに来てください。

ワクワークフェスティバル vol.2

とき 5月18日(日)

午前10時～午後4時

ところ みなとオアシスがまご

おり(竹島ふ頭)

参加費 無料(一部工作ブース有料)

◆ ワクワクスステージ

◆ キッズダンスなど

◆ ワクワクゴハン

◆ ピザ・たません・五平餅・ドーナツ・かき氷・カレーなど

◆ ワクワクワーク

◆ キャンド

◆ ル・はんこ

◆ レジン・プラ

◆ 板・木工工作

◆ ゴム銃など

◆ 問合先 ワク

◆ フェス実行委

◆ 員会代表近藤

◆ (☎080♦511

◆ 7♦3300)



学芸員
小田 美紀

博物館 ☎68♦1881

昭和29年4月1日、旧蒲郡町役場(現在の蒲郡公民館の場所)を仮庁舎として「蒲郡市役所」の看板を掲げ、蒲郡市が誕生しました。続いて現在の蒲郡郵便局の場所にあった中央公民館を市役所として機能するように改装し、同年5月10日から執務を開始しました。昭和36年に市庁舎が現在地に移転し、昭和55年には新館庁舎が竣工しました。郵便局は、昭和37年に現在地に移るまで本町西交差点のやや南東に本局がありました。警察署は、現在の図書館の場所に、戦後発足した自治体警察の蒲郡町本庁舎がありました。その後、町村合併による統合、警察法改正による自治体警察廃止(愛知県警蒲郡警察署となる)などを経て、昭和43年に現在の庁舎での執務が始まりました。市立図書館の開館

～市内施設の今昔 60年～

はその翌年です。

この60年の間に、市役所・警察署をはじめ、消防署・市民病院・商工会議所など、移転した施設はいくつもあります。ですから、歳の離れた方から何うお話や、近現代の郷土史料などを「昔は……」とあいまいに受け入れてしまうと、思い描いている地図の上でつじつまが合わなくなり、頭上に「?」マークをとばすこととなります。

逆に、これらの施設の所在地によつて、航空写真の撮影年代や地図の製作年代を、ある程度絞り込むことが可能になります。いつ、どこに、何が、どのような状態で存在していたかは、後世に伝えた大切な記録です。



竹島橋ハニワ像

写真は市制40周年記念企画展「40年前の蒲郡」リーフレットより抜粋。昭和29年6月1日、竹島橋のたもとに、彫刻作家で二科会会員の野水信氏製作によるハニワ像が建てられました。昭和59年、橋の架け替え工事のため撤去され、園地の一角に移動。平成18年から博物館に設置されています。



市役所(旧中央公民館)



警察署